

令和 6 年度医学部定員の増員について

【令和 6 年度に各大学が希望する臨時増員数】

	恒久定員内 地域枠	臨時増員 地域枠			地域枠計
		H 2 0 年度～ H 2 2 年度～	1 0 名 5 名 5 名	2 0 名	
山梨大学	1 5 名	H 2 0 年度～ H 2 1 年度～ H 2 2 年度～	1 0 名 5 名 5 名	2 0 名	3 5 名
北里大学	—	H 2 2 年度～	2 名		2 名
昭和大学	—	R 6 年度～	2 名		2 名

1. 経 緯

- 本県では、県内の医師確保を目的に、山梨大学、北里大学と連携して医学部定員の増員を行い、県内への一定期間の就業を要件とした地域枠としている。
※ 増員分は地域枠としなければならない。
- 厚生労働省及び文部科学省（国）では、令和 6 年度における医学部定員の増員について、継続して増員を希望する大学から申請を受け付け、増員の可否について検討を進めているところである。
- 令和 6 年度より昭和大学に本県の地域枠を新たに 2 名設置することについて、昭和大学から既に承諾を得ており、昭和大学においても増員の申請準備を進めているところである。
- 医学部定員の増員は、地域の医師確保を目的に臨時的に認められていることから、増員を希望する場合は、各都道府県の地域医療対策協議会において、増員の継続等について了承が得られていることを国は求めている。

2. 本県の状況

県内の医療施設に従事する医師数は増加傾向にあるが、人口 10 万人対で 250.1 人と全国平均の 256.6 人に及ばない状況にある。

また、医療圏別で見ると、大病院が集中する中北医療圏以外は全国平均を大きく下回り、医師の地域偏在が生じている。

この地域偏在を是正するためには、地域枠として医師を確保し、キャリア形成プログラムの運用の中で派遣調整を行い、医師不足地域の医師を増やして行く必要がある。

